

特集 1

# すみだの取り組みから知る “心のバリアフリー”

仕事をする、本を楽しむ、新たな情報を手に入れる、  
検診で健康をチェックする。日常の営みが  
少しずつ便利に、人にやさしくなっています。  
誰もが活躍できる、暮らしやすいまちへ。  
すみだの取り組みをご紹介します。



“SKY WAGON”

スカイワゴン

## 交流が生まれる場所

「こんにちは!」「ありがとうございます」  
毎週火曜日と木曜日に、墨田区役所1階に  
元気な声が聞こえます。

空色の「スカイワゴン」が開店しているからです。  
パンやお菓子、雑貨類など、豊富な種類がそろっています。  
今年で10年目を迎え、たくさんのファンを獲得しています。



◎「スカイワゴンの名前の由来は？」  
「大空のように広く、青空のように明るく、澄んだ  
心の持ち主たちが心をこめて手作りを販売する  
お店」という意味が込められています。

### ◎スカイワゴンってなに？

墨田区の福祉作業所等に通う障害のある方の手作りの品物を販売しています。福祉作業所等で作られた商品を一度に見ることができ、購入できるのが魅力です。

週に2回の開店ですが「スカイワゴンができて、定期的におえるようになってうれしい」という声もあります。入学時期やクリスマス、バレンタインなどは、プレゼント購入する人が多いそうです。

### ◎販売はみんな交替で担当

墨田区福祉作業所等ネットワーク《Kai》に入っている施設が交代で担当します。施設の利用者が販売と接客体験をすることで、あいさつや笑顔の大切さを学んだり、働く喜びを感じたりします。(2020年10月現在は新型コロナウイルス感染予防のため、利用者が店頭に出ない場合もあります)

### ◎人気のパン「ベスト5」はこれ!

1. カレーパン
2. ソーセージパン
3. コロッケパン
4. チョココロネ
5. 焼きそばパン



常時20種類以上のパンを用意しますが、お昼過ぎにはほとんど完売します。



### お客様の声

★おいしくて、値段も手ごろなので、見つけたとついたらたくさん買います。一生懸命作業しているのを知っているので、応援の気持ちもあります。

★区役所に用事で来て、お昼だからちょうどいいと思って購入しました。初めてだけど、便利です。

★庁舎に勤めているので定期的に購入します。総菜パン2個と甘めのパン1個が、定番の買い方です。

★かわいいマスクがあったので買いました。ワゴンにたくさんの商品があって、ワクワクします。

### 学童の子どもたちから手紙が届きました。

★夏休みの学童クラブの昼食に、パンをまとめて購入しました。地域の物にふれ、障害者支援について伝えるためですが、お弁当を作るお母さんたちに休息してもらおう目的もありました。子どもたちからのおいしいパンの感想や、質問を書いた手紙をお届けにきました。



東駒形コミュニティ会館学童クラブの  
斎藤さん(左)と郷さん(右)



子どもたちの手紙

### SKY WAGON Staff Interview



菊池さん(左)と伊藤さん(右)

#### ●墨田区肢体不自由児者父母の会 菊池 昌子さん

親子で手作りの品物を販売しています。子どもたちはシールを貼ったり、袋に入れたり簡単な作業をします。売れ筋の商品は、マスクやタオルエプロンやコースター、バッグなどです。1か月売れないものは引きあげます。新しい商品を待っているファンの方がいるからです。



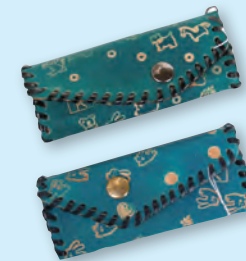
#### ●空ゆけ未来工房 中尾 比呂美さん

ハンバーガーとおせんべいを販売しています。利用者さんたちは施設外での仕事は格別に楽しいようで、スカイワゴンでの販売を希望する人が多いです。みなさん地元ですから、知り合いの方が通ると声をかけてくれます。ニコニコしてとてもいい表情で応えています。

### SKY WAGONの商品の一部



すみだふれあいセンター福祉作業所:  
スタンプを押したポチ袋



はばたき福祉園:キーケース



隅田作業所:隅田屋のあげもち



おいてけ堀かっぱ堂:  
おいてけ堀かっぱ堂クッキー



はあとぴーす:ご祝儀袋



NPOのそみ 肢体不自由児者通所訓練所:  
感覚刺激のヘアゴム

《スカイワゴンの開店日》

◎毎週火曜日と木曜日 ◎10:00~15:00(2020年10月現在は時短営業です) ◎区役所1階エスカレーター横

墨田さんさん  
プラザ

就労継続支援 B 型

## おいしいパンができる場所

### パン作りを始めて 17 年 スカイワゴンの人気商品になりました

墨田さんさんプラザは、障害のある方の働く場として 60 名の利用者がいます。一人ひとりの個性や適性を生かし、可能性を最大限に引き出す取り組みを行っています。自主生産品にも力を入れていて、手作りパンとお菓子の製造販売はスタートから 17 年が過ぎました。おいしいと評判のパンは地域のみなさんに広く知られ、多くの日は完売します。

### 特別なパンではないけれど ていねいに作っています

「パン職人から直接学んで、パンの作り方を覚えました。40 種類のパンを作っています。新作や季節限定のパンは少なめにしています。同じパンを作り続けることで、作業の流れや材料の種類などを覚えてもらえます」と、施設長の大谷徹さん。17 年もパンの製造を担当している利用者もいて、とてもていねいに仕事をしています。



施設長 大谷さん

### 作る、仕込む、掃除をする

働く時間は 9 時～ 15 時です。午前中はその日のパンを作って、午後は翌日の仕込みをします。その後は、みんなで一緒に掃除です。作業台も床もとてもきれいです。道具類も整然と使いやすいように並んでいます。

### パン作りは楽しいから 長く続けられます

自宅から 30 分以上かけて徒歩で通う古川祐治さん。パン作りは立ち仕事ですが、往復歩くので体力が付き疲れないそうです。パンは大好きですが、食べるのは週末だけです。ダイエットをかねて、朝はバナナ 1 本だけです。なんと、10 キロやせたそうです。

「好きな工程は成型で、特にソーセージパンの成型が好きです。いい仲間と働いているので、毎日楽しい」と話します。



古川さん

ひだまり  
工房

就労継続支援 B 型

## 人気の商品 が生まれる場所

### 各自の得意分野を活かして ハンドメイド雑貨の製作・販売を しています

陽当たりのいい部屋で、利用者みなさんがそれぞれの作業をしています。編み物をする人、ミシンをかける人、手縫いをする人、布を折る人など、仕事はとてもていねいです。よりよい商品づくりを目指してみんなで相談して生まれた商品は、100 種類くらいあるそうです。いまは 20 ～ 30 種類に絞っています。

### 大人気のマスクの製作担当は 9 人

マスクは新型コロナウイルス感染拡大の前から商品化し、スカイワゴンや雑貨店、薬局などに卸していて、とてもよく売れています。布を切って、サイズどおりに折り、ミシンをかける。そしてアイロンをかけて、またミシンをかけ、耳にかけると通すなど、いくつもの工程があります。9 人の利用者が関わりながら人気のマスクが出来上ります。

### マスク作りは楽しいし やりがいがあります

ミシン担当のお二人は、マスク以外のお薬手帳ケースやポーチなど、いろいろなものを作ります。「ミシンはここで覚えました。お金をためて家のミ

特集 1 すみだの取り組みから知る  
“心のバリアフリー”



精神保健福祉士の  
高橋さん

シンを買い、小物を作ったりしています。この間は母にエコバッグを作ってあげました」と話してくれました。「手作りは楽しいです。マスク作りは、やりがいがあります」

### 人と、社会と、つながる場が 生活の潤いになれば

精神保健福祉士である職員の高橋知佐さんは「登録されている利用者は 30 名くらいですが、1 日に 10 名前後の方が来て作業をしています。ご自身のペースに合わせて週 1 回の人もいれば、毎日通所する方もいます。みなさんとてもまじめに、コツコツ作業をしています。新しいことは苦手だったりしますが、マスクなどはいつの間にか自分たちで工夫をして作業をしています。趣味で作っているのではなく、商品だということに社会との接点が生まれています。こうした場があるのは、生活の潤いになるのではないかと考えています」